

■生産性向上等の課題に建設ICTをツールに挑戦する企業の取組みを知り、一歩踏み出す大切さを学びました。



さらなる普及が予想される「i-Construction」。本研修では、建設ICTを活用した場合の起工測量や出来形管理の手法及び建設ICT機器に関する最新情報の他、県内の施工実例から建設ICTをツールとして活用し、新たな挑戦をしている企業の取組みについて学びました。

- 1 日時 令和元年7月29日（月）
- 2 場所 飛騨・世界生活文化センター 食遊館 2階 会議室1  
（高山市千島町900-1）
- 3 対象者 岐阜県内に本店が所在する建設関連企業の経営者、部長、課長、係長等
- 4 参加者 18社 23名
- 5 内容

時間	研修内容	講師
12:30～	受付開始	
13:00	ICTを活用した建設技術の概要	一般社団法人 日本建設機械施工協会中部支部 建設ICT活用連絡協議会会員 鈴木 勇治 氏(サイテックジャパン(株))
～14:30	ICTを活用した起工測量及び出来形管理について (途中休憩)	
14:40	ICT技術の普段使い	株式会社 トプコンキアポジショニングジャパン セールス&マーケティング部 名古屋営業所 山崎 晃 氏
～15:50	(途中休憩)	
16:00	舗装工事(路面切削)における建設ICTの活用事例	株式会社 サンロード 長尾 斐馬 氏
～16:30		
16:30	アンケート記入、閉講	

- 6 主催 建設ICT人材育成センター（(公財)岐阜県建設研究センター内）
- 7 CPDS 4ユニット（認定講習）

## 8 研修状況



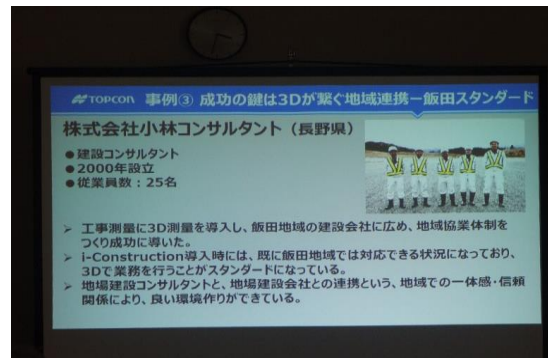
講師  
一般社団法人 日本建設機械施工協会中部支部  
建設ICT活用連絡協議会会員  
鈴木 勇治 氏 (サイテックジャパン(株))



“ICTを活用した建設技術の概要”  
“ICTを活用した起工測量及び出来形管理について”  
i-Constructionの関連要領と工事の一連の流れの他、測量から検査までの各工程における従来施工との違いについて学びました。



講師  
株式会社 トプコンソキアポジショニングジャパン  
セールス&マーケティング部  
名古屋営業所 山崎 晃 氏



“ICT技術の普段使い”  
ICT施工を全国に先駆けて取り組んできたトップランナー達の事例をもとに、建設ICT導入に向けて中小の建設企業が何から取組めばいいのかについて学びました。



講師  
株式会社 サンロード  
長尾 斐馬 氏



“舗装工事（路面切削）における建設ICTの活用事例”  
モデル工事を受注して初めて分かるICT施工の特性を実際に施工した技術者の生の声から学びました。

## 9 受講者の感想

- ・ ICTの大切さが分かった
- ・ もっと具体的な作業内容を紹介してほしい
- ・ 特に普段使いについて興味があったのですが内容が思ったのと違った
- ・ 最新の技術について学べたので良かった
- ・ 全体にわたり、同じ話を繰り返しているように思えた
- ・ 講師の説明分かりやすかったです
- ・ 今後の会社への取り組みに生かしていけるし経営陣に説明したいです
- ・ 重機（バックホウ）のマシンガイダンスの利便性が分かった

以上